



通信

HP 学校だより
R7.12.16
NO.31
文責 伊藤美佳



その道のフロから学ぶ

12月に入って、たくさんの方が来校され、学びの場を提供してくださいました。

まず、福祉実践教室では、1、2年生「手話」、3年生「ガイドヘルプ」、4年生「車いす体験」、5年生「高齢者疑似体験」、6年生「点字」と、多くの講師の方をお招きして学ぶことができました。1年生が校長室前の指文字に興味をもってくれたのも、福祉実践教室がきっかけだと思います。6年生は10日に、「選挙出前トーク」で選挙を体験させてもらいました。実際に候補者の話を聞いて、自分で選択して選挙するという経験が、選挙権をもった時に生かされるのではないかと期待します。また、4、5年生は12日に「カルビー出前授業」で、おやつ役割、食べる量や時間など、日頃あまり考えていなかったことを、クイズを交えて楽しく学ぶことができました。お家の方へ、自分の学んだことを伝えてくれているとうれしいです。同じ日に、6年生は「弁護士社会科一日教室」として、弁護士の方をお招きして模擬裁判を体験することができました。実際に「裁判官」「裁判員」や「弁護側」「検察側」「被告」「証人」など役割を決めて、本番さながらの裁判を体験することができました。自分たちで判決を決めるために、それぞれの立場で話し合うことができ、良い経験だったと思います。

他にも、5年生が社会科見学をさせていただいた鈴木化学工業所、ジェイテクト、デンソー高棚工場など現場を見てそこで教えていただいたことも、とても貴重な学びとなりました。

焼いもパーティー

11日（木）に1、6年生で焼いもパーティーをしました。ただし、焼いもパーティーをするためには、準備がとても大変です。前日に穴を掘っておくのはもちろん、朝早くから（熾火にするための時間が必要なため）、地域の方が木材を運んでくださったり、火をつけるために先生方で準備をしたりしました。また、6年生は前日にいもを洗っておき、1年生に新聞紙やアルミホイルで包んでもらう準備をしていました。もちろん、火の番は先生方で行い、安全に気を付けました。こういった準備の甲斐があり、熾火の遠赤外線ですぐに焼けたいもを1、6年生でおいしくいただきました。今年は、地域の方の畑でひまわり学級の子どもたちが掘ってくれたいもも焼いてくれたので、全校とはいかなかったですが、多くの子どもたちがおいしい焼いもをいただき、冬の味覚を味わうことができました。

音楽宅配で感性を磨く

幸田町では、「音楽宅配」という事業を町内各小学校の2年生と5年生に実施してくれています。本校では、11月に5年生、そして11日には2年生が「音楽宅配」ですてきな音楽を受け取りました。

2年生が受け取ったのは、ピアノとアルトサックスの「音楽宅配」です。2年生に対してなので、聞き覚えのある曲が多いのかなと思って見に行くと、あまり聞いたことのない曲でした。その曲を、子どもたちが自分なりのイメージで聞いていることに感動しました。目を閉じたり、じっと演奏者を見たりして曲を楽しんでいる子がいました。中には、指揮をしたり、体でリズムをとったりして全身で曲を表現している子もいました。本物を身近で聞き、子どもたちの感性が磨かれていく現場に立ち会うことができる幸せを感じました。